

特定非営利活動法人 ピアソン会

第85号

2019. 3.31

ピアソン便り

発行人：吉田 邦子（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

ピアソン会事務局

(事務局長 伊藤 悟)

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel: 0157-31-1215

ピアソン記念館内

AM.9:30 ~ PM.4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp

Pierson Booklet No.6

北海道命名150年・ピアソン宣教師来日130年記念

『ピアソン夫妻伝道旅行日誌』
北海道フロンティアの心の支えとなった夫妻の足跡

今回の出版は、関西学院大学図書館（山崎さんの協力）より、1893（明治26）年10月に創刊された英文雑誌「ジャパン・エヴァンジェリスト」に掲載されたピアソン夫妻の日誌など（1902年〜1918年）を複写していただき、その資料を北原俊之氏が翻訳して出版したものです。

この記念事業は、ほっかいどう遺産W.A.O.N（イオン北海道、マックスバリュ北海道発行）からの貴重な助成をいただき実現できました。心から感謝いたします。

日誌の主なものとしては、◎「北海道での活動日誌」として1909（明治42）年に旭川から名寄・興部・紋別・湧別・宇田・佐呂間・野付牛・北光社・本別（陸別の関寛斎や名寄も含む）・池田・釧路・帯広の旅行日誌。◎「北海道の辺境地で」と「少女と熊の話」。内容は内浦湾（噴火湾）エリアでの話と、当時この地域に設置された「北海道孤児院」について、さらに道に迷った少女が熊に道を教えてもらう話など。◎「北海道から九州まで」、1918（大正7）年、視察官として日本全国を視察した時の日誌になります。仙台の東北学院、宮城学院女子

大学、神戸での賀川豊彦氏との出会い、土佐の高知での話など。資料としては、最新のピアソン夫妻の年譜も収録しております。ピアソン記念館で、一部千円の頒布価格で提供しておりますので、よろしく願います。



写真右/A4版。表紙には当時のピアソン通りのポプラ並木を、特殊技術でカラー化した写真を使用。

家庭用ハーブなどを使用します。

4月14日（日曜日）に、①午前の部10組（予約が必要）10時半より12時。②午後の部10組（予約が必要）13時より14時半まで。材料費として1200円が必要です。

詳しいことは、ピアソン記念館（電話31・1215）までお問い合わせください。定員になり次第締め切りますので、ご了解願います。

文化サロンdeピアソン

講習会「ハツカ石鹸作りの
地産ハッカで爽やかな香りを！」

家庭でもできる簡単で楽しい無添加純石鹸作りです。

今回は手で練って作る石けんと透感のある溶かして注ぐだけのMPソープの2種類のハンドソープを作ります。材料として元祖ニコロ生まれの「北見ハッカ取り御し油」・「北見産ハッカ」・「北見自

ピアソン会「総会」の開催案内

- ◎ 開催日時 : 2019年5月25日(土) 午後4時30分
- ◎ 開催場所 : ピアソン記念館内 北見市幸町7丁目4番28号
- ◎ 参加資格 : 運営会員・賛助会員・団体会員・その他
- ◎ 総会内容 : 2018年度事業・決算報告、2019年度事業・予算(案)、
- ◎ その他 : エリザベス市との姉妹都市提携50周年記念行事について提案いたします。

海外伝道雑誌「ウーマンズ・ワーク」に、ピアソン夫人が寄稿していた報告文を、北原俊之氏が入手・翻訳しましたので、ここに掲載いたします。

「北見地方・1912年からの活動の広がり」

昨年度（1914年）は、年度始めに突然にミス・ロース、年度末には長期にわたり病に苦しんだジョンソン夫人の二人、私たちの宣教師仲間が失われたということで、北海道中会の歴史の中でも忘れられない年になります。私たちの中では、ミス・ロースは肉体的にもとても逞しい人で、ジョンソン夫人は最も若い人でしたが、しかし、二人とも天のお招きがきてしまいました。「次は誰の番だろうか」は、誰にも避けられない厳然たる思いです。

「人居する」住宅の建築にまる5カ月間苦しんだことを語らなければならぬでしょう。また、北見地方の天候について思い知らされた忘れられない感想についても話さなければならぬでしょう。北見の人たちが、今年の天気は「いつもとは違っていい」と話すので、私は、それはいい意味のことだろうと期待していました。確かに、特に吹雪に関しては、並大抵でないことを知りました。旭川の寒さは湿っぽい「しばれ」ではあっても、まだまだ静かな寒さです。ノツ

いて、私たちは、冬の厚手の外套を身につけて、寒さで指をしばれさせながら、種を蒔いたり苗木を植えたりしなければなりませんでした。

私は、クリスチャン農家のご婦人がたと婦人会を行っていました。私の家から6〜10マイル（約10〜16km）ほど離れた場所にある6軒の農家を持ち回りで会場とし、各人は列車や馬そり、乗馬、徒歩などで参加していました。婦人会のある日はたいがい雨が降っていて、道路や衣服、履き物にとっては芳しくないものですが、「集い」のためにはありがたいもので、雨天だと農家のご婦人がたは喜んで「集会」に参加してくれるのです。ですから、この「雨の日クラブ」は田舎の伝道活動の有効手段だとし、私たち信者仲間の一人が、真剣に提案してくれているのです。

ピアソン博士は、これまで15年間にわたり、聖書に註釈を加える作業を続けてきました。今年、それを完成させたいと話しています。「小樽の」銭函は、札幌と小樽の間にある海沿いの村で、ミス・モンクが協力者といっしょに、漁師の子供たちを対象に平日の「日曜学校」を長年にわたり実施しています。百軒ほどの家庭を訪問して、夕べの伝道集会に参加してくださいと個別に招待状を渡したあと、自身も集会に参加するのです。彼女はそれほどの成果はな

いとは言いますが、先週私たちが参加した集会をみると、最前列には熱心な子供たちがいて、多数の男性や女性たちが暗く古めかしい漁師の家の座れるあらゆる場所を埋め尽くし、入り口や窓辺などに人だかりをつくって立ちながら、「中には」伝道者の話を声を出してうなずいたりするものもいたり、しまいには話の終わり頃には、一人の男性が手を高々と挙げて救いを求め受け入れクリスチャンとなることを表明する者もいて、この集会が、彼女の言っていることとは全く異なる様相を見せていたのです。

私たちは、帯広監獄での集会を月に一度今も開いていて、囚人と接することはできないものの、看守とその家族が参加しています。集会の最初に欠かさず行う日曜学校は参加者も多く皆意欲的です。さらに、帯広監獄の典獄が、クリスマス会の実施を再び許可してくださり、おまけに寛大にもその会のために献金してくださいました。それとは別に、私は、女性だけの集会も始めまして、参加者数と意欲の点でうまくいっています。初回は、女性15名と幼児8名、2回目は、女性16名と幼児14名にもなりました。

野付牛教会は、明治学院を卒業した若手の伝道者が着任して以来、着実な歩みを示しています。日曜日の朝礼拝は、一人か二人の参加者であったものが二十名にまで増

えましたし、十分な数の人が、夕礼拝や祈禱会に参加しています。日曜学校は参加者が多く活気があります。私の日記には582軒の家に短い訪問を行い、326名の来訪者があったことが記録されています。しかし、キリストに不變の忠誠を誓って信頼を置くような信者をさらに得るためには、これ以上の数（「人への働きかけ」が必要となりますので、「真正なる執りなしの祈りをすれば、生命力が解き放たれ、その結果として普遍的な変化がもたらされるものだ。」との言葉を信じ、私たちは、更に一層の「自らのための」祈りと「他人のための」執りなしの祈りをする必要があるので。

アイダ・G・ピアソン

野付牛、北見、北海道

【参考資料】

この記事は、米国長老派教会の女性海外伝道協会が発行した『女性のはたき Woman's Work』1916年3月号に掲載されたものです。

これは、女性伝道協会発足当初からの機関誌で、世界規模で月刊で発行。名称は期間により変遷あり。この名称は、1885年から1924年までのものようです。

アフリカ、アジア、中南米の諸国で活動する「読者が相互に励まし合う意味合いが強い。記事、写真は生き生きとして興味を引き起こすものとなる傾向があった。」（北星学園資料センター）

「ニュージーランドからの便り」第16回

ピアノソング顧問 グラハム・ハード氏



*2019.2.6

◆ 姪の男の子、入学。ニュージーランドでは特別な儀式はなく、最初の数日は子供同士が打ち解けて学校や遊園地に馴染むようにゲームや遊びをして過ごします。

◆ 漢字や俳句の学びの時間、今は固有名詞の学習手引きで楽しんでます。リスト作成の時はワープロを使っていました。地名辞典にも多くの発見があります。芭蕉の俳句の多くは分かりやすくはないですが、見つかった句「鶯や柳のうしろ敷の前」／《蝶の羽の幾度越る塀のやね》／《永き日も轉足らぬ雲雀かな》。

*2019.2.20

◆ 北見の極度の寒さも峠は越したでしょう。こちらは記録破りの猛暑もここ数日で幾分和らぎ、タンクの水位も下がってきたので雨が欲しいところ。

◆ 先週、南島北部のネルソンの近くで大規模な森林火災が発生し、数日間燃えて数千の住民が避難を

余儀なくされました。幸いにも、消防隊員たちの決死の努力で死者も重傷者もなく、被害は最小で食い止められました。

◆ 先週、冬の到来に備えトラック一台分の薪を配達してもらい、半分は姉夫婦のところへ運び、残りは家の車庫に積みました。ユーカリが多く、心地よい芳香が漂っています。

◆ ピアソン便り、いつものことながら、感銘深くしました。特に、クリスマスツリー飾りの子供たちの写真を好ましく思いました。

◆ ジョージ・ピアソンの初期の年月や日本への志、また千葉での生活や仕事の時期に関係する記事を興味深く、ピアソンさんの手紙幾つかを活字化したことなどを思い出します。日本語会話の知識の習得や段階を踏んでの解決策に感銘を受け、また、当時日本国内での外国人の移動の規制などを思い出させられ興味深いことでした。ピアソン夫妻や他の人たちが日本の各地で居住し働くことを可能にしたのは規制の廃止でした。

◆ 今日の語彙は「袈裟」(けいさ)、「圭角」(けいかく)、「慧眼」(けいがん)。「芭蕉の俳句は、《うかれける人や初瀬の山桜》。人々が初瀬のヤ

マザクラを楽しんでいる様子。『はつせ』または『はせ』は奈良県に有名な長谷寺への門。芭蕉の俳句の多くには悲哀が感じられるので、この楽しいな句に出会って嬉しいです。

*2019.3.17

◆ ニュージーランドのクライストチャーチでの恐ろしい銃撃ニュースが報道されたと思います。国内全体がショックを受け、悲嘆にくれています。誰も想像しないことでした。どう解決されるかわかりませんが、犠牲者やその家族のために祈りを捧げ、できることをするだけです。

◆ ワンガヌイでは欲しかった雨も降って果物も熟成し、皆に分けるほど収穫できました。家畜の飼料も実りました。

◆ 5月の北海道訪問が予約できました。11日千歳着で、北見には5月28日から一週間の滞在予定です。ピアソン会の方々にも再会できる機会がありますように。お会いできるのを楽しみにしています。



ピアソン記念館英語音声案内のアナウンスをボランティアで協力していただいた木島アリソン夫妻が、昨年12月誕生の《風彩ノエル》(なまがさ)ちゃんを連れて、アリソンさんの母(アメリカ在住)リンダさんと報告のため来館されました。元気な女の子で、誰に抱かれても平気な様子でした。
写真左/向かって右から吉田理事長、リンダさん、木島夫妻と風彩ノエルちゃん、河田事務局次長。



素敵な来館者!

NASAの宇宙探査機ボイジャー計画に関わった(地球外生命体とのコンタクトを想定して搭載のゴールデンレコードの制作に携わる)佐治晴夫氏が来館されました。今宇宙を旅しているゴールデンレコードに記録されている、バッハのフーガハ長調を、ピアソン夫妻のオルガンで弾いてくださいました。



クナウマガジン 「スロウ」 vol.58 の取材を受ける!

帯広のソーゴ印刷(株)スロウ編集部が発行する季刊誌、「スロウ」冬季号にピアソン



る文化芸術の情報誌の取材でもあり大いに緊張しました。「クナウ」

会の活動が紹介されまされま今や、道内を代表す

とはアイヌ語で福寿草。春の到来を告げるこの花は、ユーカラでは「心を見抜く眼」に例えられているようです。

ピアノン夫妻資料収集記 (6)

ピアノン会理事 玉置 義弘

は現在のニューヨーク市立大学ハ
ンター校に当たり、アイダ・ゲッ
プが学んだ頃は女子師範高等学校
でしたが、教育者を養
成するエリート校だっ
たようです。この学校
の1883年の卒業式
のプログラムを今回の
調査で見つける事が出
来、その中でアイダ・
ゲップがフランス語で
一位の表彰を受け、ゴ
ールドメダルを授与さ
れ、また「女性性は高等教育を受け
る事ができるか？」という題の作
文を朗読している事が確認出来ま
した。グラマースクールの作文も、
ノーマルカレッジの作文も原稿が
掲載されていないのが残念ですが、
彼女の能弁さはこの頃から発揮さ
れていたのかも知れません。この学
校を卒業後のアイダ・ゲップについ
ての記録は判然としません。ノーマ
ルカレッジを優秀な成績で卒業し
ているので、日本へ宣教師として
派遣されるまで、どこかの学校で教
師をしているのに違いないと考え
ているのですが、具体的な証拠は
まだ見つかっていません。しかし、
北原氏から『アイダ・ゲップは卒業
後ノーマルカレッジで教えていた
のではないか?』との指摘があり、
現在、調査中です。

のミス・P・S・ハーシュで、彼女
も同じく宣教師として極東に派遣
されます。 翻訳 北原俊之

写真下/卒業式プログラム。
全18ページ(写真は表紙部分)



アイダ・ゲップが聖公会の宣教師
になった経緯を記録したものは、今
の処、まだ見つかっていません。ペ
ンシルベニア大学に籍を置いた1
年後に、宣教師として海外に向かっ
た理由は何だったのでしょうか?
(つづく)

今回の私の調査で見つける事が
できたピアノン宣教師とアイダ・
ゲップについての記録で一番古い
ものは、1879年6月30日の「ニ
ューヨーク・タイムズ」に掲載さ
れたアイダ・ゲップのグラマース
クールの卒業式の記事です。アイ
ダ・ゲップが独唱した事と作文を
朗読した事が書かれており、この
時アイダ・ゲップは17歳でした。

【NYタイムズ新聞記事】

「グラママー・スクールの卒業式」

グラママー・スクールNo.4、通
称「旗の学校」、(SEカウルズ校
長)の卒業式が、ブロードウエー
に近い12番街の校舎で、昨日行わ
れた。趣のある飾り付けがなされ
たくさんの来訪者で賑わった。式
の内容は、変化に富んでいて、興
味深いものであり、優等生によ
りすばらしい力量で解説されてい
た。ベシー・デ・トレヴィルが、
開会のあいさつ「やさしさと強さ」
を述べて、ヴァージニア・W・プ
ライスが卒業生総代として、「道」
のテーマで惜別の辞を述べた。詩
文の朗唱が、アニタ・ハバド、ジ

エシー・H・マーチャント、メアリ・
キャンベルにより行われ、惜しみ
ない拍手を受けていた。シャルロ
ット・D・シモンズとアイダ・ゲ
ップが、それぞれ数曲ずつ独唱を
行い、ネリー・フラーは、すてき
なヴァイオリン独奏により会衆を
魅了した。アイダ・ゲップは、「女
性の地位と役割」のテーマで作文
を朗読し、そして、生徒たち、ほ
んど全員で、興味深い徒手体操
を披露した。教育委員長のウッド
氏が、エミリー・ローン、ハトル・
スタウエルに、ジェラルド賞を贈
呈し、市の教育長が、エマ・レビ、
ケイティ・S・ヘネカン、グレ
イス・タウンゼンド、ヘレン・B・
ターニクスに奨学金を授与した。

翻訳 北原俊之

この後、1883年にノーマル
カレッジを21歳で卒業。この学校

「日本派遣の宣教師」
昨日(米国) 東部から到着した
方々の中の一人、ミス・アイダ・ゲ
ップは、ニューヨークで教育を受
け、聖公会の宣教師を志望して日本
派遣が決まりました。

【SFクロニクル新聞記事】

「日本派遣の宣教師」

彼女が、明日、ゲリック号で出
帆し東京へ直行し、東京では、日本
人女子児童対象のミッションスク
ールで教鞭をとる予定です。ミス・
ゲップと同行するは、サンノゼ出身

助成金事業でピアノンブックレッ
トNo.6「ピアノン夫妻伝道旅行日誌」
を出版しました。北海道命名150
年記念としての企画です。是非お読
みください。
2018年度会計は3月31日で終了
しました。この便りが皆様のお手許に
届くときには新年度2019年度会計
に変わります。
4月14日に「手作り和薄荷石けん」
の講習会を開催します。また、5月
25日にはピアノン会第21回定期総会
が開催され、7月には、姉妹年提携
50年を記念してエリザベス市より訪
問団をお迎えいたします。
次回のピアノン便り発送時には、
会費納入の連絡書類も同封いたしま
す。よろしくお願いたします。ま
た若い会員、活動のお手伝いを出来
る方なども募集しています。
(理事兼事務局長) 伊藤 悟

編集後記

4